

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2013 年 4 月号 (第 60 号)

発行責任者 薄井 文子



《 5 月行事告知 》

5月31日 (金) 開催！

「ところざわ倶楽部第2回文化祭」

— 広げよう！深めよう！ コミュニティーと懇親の輪！ —

事業部

第2回を迎える本年度の文化祭は、風薫る、季節の良い5月31日開催に決定いたしました。本年度理事会ではこの文化祭を最大の行事と考え、254名を数える倶楽部会員の皆さまの平素のサークル活動、日々取り組んでいる音楽、演劇、芸能、そして俳句、絵画、陶芸等個人として磨かれているアートの発表の場になればと考えています。そして何よりも14期から19期まで、数えて6期にまたがる市民大学修了者の会員の皆さまが、年に一回は一堂に会し、楽しく交流を深めるものにしたいと考えています。

事業部ではこの文化祭を、昨年行った演芸部門に加え本年度から、展示部門も開設いたしました。文化祭実行委員会を作り、演芸部門責任者(若山 昭)と展示部門責任者(志村 喜八)のもと、それぞれ数人のスタッフで企画、展示の交渉等、準備に入っています。

現在演芸部門では3サークル(楽悠クラブ、ドラマティック・カンパニー、懐かしの映画・鑑賞会)から出演申請があり、お馴染み「とことこバンド」も張り切って練習されています。全体で8組の出演が予定されています。また展示部門でも絵画、写真、俳句、陶器、生花など、多くの会員の皆さんから出品いただく予定になっています。

詳細は5月号「広場」、HP、チラシ等でご連絡いたしますが、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

文化祭スケジュール(予定)

開催日：5月31日(金)

場所：中央公民館ホール

展示部門：11時～16時

演芸部門：13時30分～

連絡先：志村(2923-9055)

若山(2922-1494)

《 3 月の倶楽部事業実施報告 》

大好評！ 質疑応答も活発に 公開講演会「iPS細胞とは??」 盛会裏に終了

事業部



講演会の概要

3月26日（火）新所沢公民館において、ところざわ倶楽部主催、今期2回目の公開講演会「iPS細胞とは」が開催されました。講師の長谷川由紀氏は理化学研究所（横浜研究所）でiPS細胞の研究に取り組んでいる新進気鋭の女性研究者で、①iPS細胞が誕生した背景 ②iPS細胞の誕生 ③iPS細胞の未来 の3テーマを中心に、約1時間話されました。

参加者は約200名で、今回も約半数の100名が会員以外の市民でしたが、講演に続いて30分をこえる活発な質疑応答が行われ、このテーマへの関心の高さを窺わせました。

山中伸弥京都大学教授のノーベル賞受賞の話題性とiPS細胞を利用した医療への期待に加え、地域紙（市民新聞・家庭新聞・東京新聞ショッパー）に取り上げられたこともあってか、会場の新所沢公民館ホールは開演前から長い列が出来ました。

なお、今回初めてアンケートをとりましたが、大多

数の参加者から高い評価をいただきました。

講演の内容

iPS細胞とは「成熟した細胞を、多能性を持つ状態に初期化したもので、さまざまな細胞に育つ受精卵のような状態に戻したものです。山中教授のこの発見によって、実際に「神経」や「心臓の筋肉」、「肝臓細胞」などに育てることができる。iPS細胞で期待される医療技術として、病気などで働かなくなった細胞を再生する技術、病気の人からiPS細胞を作り、その病気に効く薬を効率的に開発する技術、薬になる物質の毒性を調べる治験、臨床テスト等がある。

難病に悩んでいる人達が、iPS細胞の発見によって治療や再生医療に大きな期待を寄せていますが、実用



化にはまだまだ課題もあり、分化した細胞の一部が、癌になる可能性が絶対に無いとは言えないそうです。

（池田 記）

平成 25 年 3 月理事会報告

3月理事会は11日(月)に開催されました。

1 会長事案

- (1) 20期企画委員との意見交換会を11日2時より生涯学習推進センターで開催(都合のつく理事の参加を要請)
- (2) サークル訪問予定(民話の会3月19日、公園を楽しむ会3月28日など4サークル、訪問希望理事は申し出る)

2 総務部事案

- (1) 会員動向(現時点で会員数、254名)
- (2) サークル運営補助金支払い
17サークルで合計8万円
- (3) 楽悠倶楽部より文化祭にかかわる費用補助の要望あり。議論の結果、予算化されていないこと、公平性の観点から補助しないこととする。来年度の検討課題とする。

- (4) 4サークルの4月活動計画報告

3 事業部案件

- (1) 3月26日の講演会の役割分担の決定 役員12時30分集合
- (2) 5月文化祭、8演目が決定で締め切り、展示部門は3月末まで受けつける
当日のスケジュールの検討
- (3) 6、7月に古典講座の開催を予定「旅に果てた俳聖、現代に生きる芭蕉」 講師 川上義正氏
6、7月に4回開催 参加費1,000円
- (4) 7月事業「映画と講演」「私は2歳」(山本富士子、船越英二)を予定

4 広報部案件

- (1) 「広場」3月号内容紹介
- (2) 「広場」4月号企画説明
「市民大学は今」4月から各月掲載予定。
新シリーズ「私の健康法」こう期待

総務部

次回の理事会 4月8日(月)10時 新所沢東公民館

講演会に関するアンケート調査結果

3月の公開講演会「iPS細胞とは」の際、当倶楽部として初めて、倶楽部の事業に関するアンケート調査を行い、来場者の約半数 107 名の方から回答をいただきました。

内容については70%の方が「解かりやすく良かった」との回答を寄せましたが、難しかったと回答された方も14%いました。また、講演時間は、ほとんどの人が「丁度良い」と回答されていますが、これは質疑の時間を多くとったことが一つの要因だったものと推測されます。

「よかった」と評価された方からは、「お若い方が一生懸命研究され、人間の寿命に希望が持てます」「最前線の現場で活躍している先生の話聞いたことは感動ものです」というような感想も寄せられました。

今後計画して貰いたいテーマについては、TPP問題やエネルギー、環境、外交などの経済・社会・時事問題及び老いや健康などの身近な問題に多くの期待が寄せられていることがわかり、今後の事業を計画する

にあたって貴重な資料を得ることができました。

なお、100名をこえる一般来場者があったことは、広報のやり方が効果的だったものと思われる反面、250名以上の倶楽部会員の中で、参加した人はその4割にも満たなかった事実は今後の課題です。（高橋記）



今回の集計作業は、「懐かしの映画・鑑賞会」サークルの二上理事にご苦勞戴きました。なお、数多く寄せられたコメントは、紙面の都合上割愛しました。

【 アンケートの集計結果 】

1. 参加人数 （配布資料の残部数から推定）

参加総数	倶楽部会員	α は、遅れてきた等の理由で、資料を手にせずに入場した人
	90名 + α 名	
190名	一般参加 100名	狭山からの来場者4～5名を含む。 (受付外で資料をもらって入場)

2. アンケート内容

○ 回収数 109枚(無記入 2枚含む) 回収率 56.32 % <= 107名 / 190名

男 : 70名	50才以下	50才代	60才代	70才代	80才以上
女 : 37名	1名	2名	49名	47名	8名

倶楽部会員	市民大学	一般
44名 (41%)	8名 (7%)	55名 (52%)

(1) 講演の内容は如何でしたか？

解かりやすく良かった	ふつうであった	難しかった
75名 (70%)	17名 (16%)	15名 (14%)

(2) 講演時間は如何でしたか？

長い	丁度良い	短い
2名 (1.5%)	98名 (92%)	7名 (6.5%)

(3) 今後もこの様な企画に対し参加されますか？

はい	いいえ
106名 (99%)	1名 (1%)

支え！ 学び！ 遊ぶ！ サークル活動

サークル活動レポート

《アジア研究会》

アジアの各国の話題を！

小椋 雄二

女性7名男性14名の総勢21名のメンバーで、毎月1度アジア各国の話題を取り上げています。

DVDやVHSによる映像観賞を主軸に、会員や外部の方による現地滞在経験談や旅行感想を披露していただく機会も増えました。

中国人の大学教授及び留学生による講演を実現させ、彼等の日本及び日本人に対する感覚をうかがうことが出来ました。

歴史、政治、経済、観光名所等は勿論ですが、何よりもできるだけその国の庶民の生活振りを知ることが出来る内容を目指しています。新聞、TV、映画、書籍などから情報を得ていますが、中国や韓国以外の国に関する情報が少ないのが悩みです。それでも領土問題に象徴される過激な反日活動を懸念して、多くの日本企業が生産、調達の拠点を中国から移しているタイやヴェトナムの情報が増えてきました。両国以外にもインド、マレーシア、インドネシア、ミャンマー等の情報を紹介して行きます。

原則として定例会は毎月第3水曜日の午後中央公民館で開催していますが、時には外に出て会員相互の懇親を図るお楽しみ会も実施します。お花見、東大五月祭の講演（脱北女性）と学生食堂体験、昼食懇親会などを通じて会員相互の団結が強まりました。4月には直通運転が開通した横浜元町・中華街を訪ねて、中華ランチと山下公園散策を企画しています。

メンバーは年齢こそ戦前（太平洋戦争です）生まれが大半ですが、とにかく気が若くてなんにでも興味を抱き、飲むは食べるは語るは、それは半端ではありません。持病を抱えている方もおりますが、それでも仲良くワイワイ集まって過ごす時間がとても有意義で楽しいと感じている方が多いのでしょう。出席は毎回15名を下りません。

3月の例会では、会員の岡田俊吾さんに、2月に旅行してきたタイの状況について報告していただきましたが、右に掲載されている写真はその時のものです。

タイは今、経済成長が著しく、日本企業も多く進出しており、活気に満ちています。その所為か共働きが多く、バンコクでは外食や惣菜などを屋台で買って帰

り、中食をする家庭が多いのだそうです。

また、企業進出だけでなく、歴史的に日本との関係は深くかつ良好で、親日的です。詳しくは、倶楽部ホームページの投稿欄をご覧ください。

今後は、サークル・メンバー以外の方からもアジア各国の情報（映像、旅行体験談・体験記、日本在住者等）の提供をいただければ、内容を充実させることが出来ますのでご協力ください。

また、アジア研究会へ興味をお持ちの方は遠慮なくお声をかけてください。歓迎いたします。



タイの名物 食品販売の屋台



タイの民族舞踊

サークル活動レポート

《 傍聴席 》

所沢市議会の議員定数

阪口 義男

1傍聴者の視点 …… よりよい議会活動のために

市議会は3月26日議員定数を実質的に削減しました。内容は定数審議会の答申を受けて、

- ① 現行の36人を37人とする。
 - ② ただし、当分の間33人とする。
 - ③ 次の市議会議員選挙から適用する。
- というものです。

削減が決まりましたが、永らく傍聴を続けてきて感じるものと違いがあります。ここで、市民の代表を減らしたことがよかったのか、選挙の時などに有権者としてはどうあるべきか、などを考えましょう。



請願者の意見を直接聞き、今回の議員定数もお手盛りにはせず、外部に「定数の審議会」を設置しました。

これ等は所沢では当たり前の事ですが、よそも同じということではありません。取組みが先進的であるとして、日本経済新聞の全国調査（地方議会が情報公開や運営方法をどのくらい改善しているか）で、極めて高い評価を受けました。議員活動は議会の会期中のみならず閉会中も充実してきました。

メディアはなぜ定数削減を唱えるか

メディアは議員の定数や報酬を派手に取り上げ、メディアの影響を受ける私たちはそれに頷きます。考えると、地方自治体と地方議会は2000年（平成12年）の分権一括法で自主性や権限が拡大し、ここから地域のことは地域で考えなければならない流れになりました。しかし以前のままだと変わろうとしない議会の「定数や報酬」に厳しい批判が生じました。つまりは議会による行政のチェックと政策提言がきちんと為されていない事が市民に分かり、反発をかったのです。メディアの批判の根底に議会が十分に機能していないことがある、と見るべきでしょう。

地方自治に必要な議会とは

もともと議会の役割の最たるものは合意形成です。地方分権へ向かうなか、行政に地域固有の事情をふまえて多くの人の声を反映させるには、実際に多様性を持つ議会が必要です。議会が地域の課題や民意を確かめて色々異なる意見を持ち寄る。そして議論をかさねて合意を組み立てる。そうするためには市民の代表が一人でも多い方がいいでしょう。

所沢市議会の状況

所沢市議会は2009年（平成21年）に議会基本条例を制定し、議会運営や活動が大きく変わりました。議会の「見える化」が進んだのです。いま市議会では一般質問の「一問一答方式」は当たり前、議会報告会は定着し、政策討論会も行われています。請願があれば

議会の「チェックと提言」による財政効果

定数の審議会の一部の委員は「定数の削減による経費節減」を強く云われましたが、違う角度から見れば議会による行政のチェックと政策提言による経費節減の実績があります。

たとえば元町の再開発事業と市役所のITシステムのオープン化だけで17億円以上の支出が減りました。実績の中には引き続き市の行/財政に寄与するものがあり、年々のシステム維持経費などは従前に比して大幅に下がっています。議員の調査や指摘から始まり結果は市民に還元されています。私達はこうした実績も理解しておくべきでしょう。

結び

所沢では定数を減らすよりは、むしろ議会機能の一層の充実を目指すべきであったかもしれません。いずれにせよ、定数は実質的に削減されました。では、これからどうあるべきでしょうか。

私達は選挙の時に、市全体の事や議会改革に熱心な候補よりも、地元の事に汗をかくてくれそうな候補を選んでしまいがちです。そして後はお任せです。やはり私達は情報を積極的に集めて投票に行き、お任せから抜け出しましょう。そして、選んだ議員の仕事振りをフォローしましょう。それが自治の充実に繋がっていくのではないのでしょうか。

詳しくはところざわ倶楽部ホームページ投稿欄「議員定数に思う」をお読みください。

《ドラマティック・カンパニー》

作曲家・笠松泰洋先生の隠された一面

われらが師は名シェフ

梅本 康弘

シェイクスピアの魅力

ドラマティック・カンパニーは、現在 10 名のメンバーで、作曲家の笠松泰洋先生に（可能な範囲で）ご指導いただきながら、月 2 回活動しています。活動の主体はシェイクスピアの戯曲を読むことです。

ドラマティック・カンパニーでは、これまでに『リア王』をはじめとした七つの作品を読んできました。

作品を読んだだけでは理解が難しいシェイクスピアも、当時の時代状況や宗教、歴史、風俗・慣習などを踏まえた笠松先生の解説によって理解が深まり、登場人物が立体的に浮かび上がってきます。

シェイクスピアを読んでいると、人は状況によって天使や悪魔になったり、矛盾に満ちたものだったり。でも、それは立場や見方によるものなのかなと思ったります。完全無欠の立派な人物よりは、弱さや邪悪さをもった人に人間臭さや共感を覚えますし、「人間っていつの時代も変らないんだな…」と思うことがしばしばです。ここにシェイクスピアの大きな魅力の一つがあると言えます。

シェフ笠松による料理会

笠松先生の大きな魅力は、シェイクスピアのみならず、ドフトエスキーを始めとした文学や歌舞伎などの伝統芸能、ギリシャ劇、オペラ、クラシック音楽、美術、西洋史、キリスト教、芸能界のウラ話、昆虫、キノコなどなど、豊かかつ溢れんばかりの知識をうかがえることですが、加えて、先生は相当なグルメでありかつ名シェフだったのです。

2 月 24 日（日）、先生が作った料理を、メンバーでいただく催しをわが家で開催しました。

メニューは、①カブとじゃがいも、カボチャ、舞茸のポタージュ ②牡蠣のフリッター入りサラダ ③牛のブルゴーニュ風（赤ワイン煮）シチュー ④ホタテ、6 種のキノコ、春菊のクリームパスタ ⑤イチヂクの赤ワインコンポート添えアイスクリーム ⑥コーヒーというゴージャスなラインナップです。

簡単に解説をしますと…

- ① 豆乳が隠し味？今回はカブを使いましたが、夏はコーンを使うのもよいとのこと。僕は、早くもこのひと皿目で余りの美味しさにノックアウトされました…。
- ② 牡蠣のフリッターだけでも料理になる。サラダも一品になる。それを併せてしまうところがゼイタク！
- ③ 赤ワイン煮については、2 日間赤ワインのフルボディ 2 本でマリネした牛すね肉を、先生のご自宅で前日 10 時間かけて煮込んだもの持ってきていただきました。先生曰く、6 時間火にかけると突然トロトロになる（5 時間ではあまり変わらない）、とのこと。エッ、口に入れた瞬間ですか？ハイ、溶けました！
- ④ 春菊とクリームパスタの相性が絶妙。先生のアイデアに脱帽です。
- ⑤ イチヂクのコンポートは、昨年、先生が作って瓶詰めになっていたものをお持ちいただきました。（なお、ビールにイチヂクソースを入れると

驚くほど美味とのこと、実際にいただきました。）

旬の素材を取り入れながら、先生の工夫とオリジナリティが詰まった料理を堪能しました。お店に行ってもまず食べられないおいしさ（予想を 3 倍くらい上回るおいしさ）で、一同夢のような時間を過ごすことができました。

詳しいレシピに興味のある方は、笠松先生のブログ「笠松泰洋の作曲家日記」で検索し、2 月 25 日の

掲載記事にてご確認ください。

<http://blogs.yahoo.co.jp/synlogue/36869060.html>

ここまで読んでいただき、ありがとうございます。もし、ドラマティック・カンパニーに興味を持たれた方がおいでなら、お気軽に見学にお越しください。新たに世界が広がること間違いなし！とお約束します。

（この記事は倶楽部のホームページにも掲載されています。）



サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

アジア研究会 （小椋雄二 2921-7739） 4月17日(水) 午後 4月定例会「直通電車に乗って横浜 中華街ランチと港散策に行くベイ会」開催 詳細後報 5月定例会 日時、場所、内容未定詳細決定次第連絡	葵の会 （池田新八郎 2940-0711） 4月10日(水) 8:45 所沢駅3番ホーム集合 皇居東御苑散策・東京駅、参議院他見学 4月11日(木) 13:30～16:00 中央公民館5号室 古典講座 古事記第3回「須佐之男（スサノヲ）命」
公園を楽しむ会 （渡部正俊 2921-3014） 4月25日(木):「航空公園からカルチャーパーク」へ カルチャーパークにてBBQ。参加費 1000 円 5月23日(木):「清澄庭園と深川界隈の散策」 西武池袋線練馬駅 8時50分集合	楽悠クラブ （甲田和巳 事前連絡は不要） 4月9日(火) 13:30～17:00 中央公民館 #8・9 歌劇「後宮からの誘拐」DVD鑑賞 5月15日(水) 13:30～17:00 中央公民館 #8・9 映画「ミュージカル南太平洋」DVD鑑賞
地域の自然を考える会 （広沢正己 2939-9181） 4月13日(土) 8時～ 糍谷八幡湿地保存会 荒起し作業 4月23日(金) 10時～12時 トトロの森12号地 管理作業	地域の自然 （多胡國男 2993-6143） 4月13日(土) 09:00 ～ 笹・常緑樹等の伐採 場所: 早大B地区調査地 4月27日(土) 09:00 ～ 笹・常緑樹等の伐採 場所: さいたま緑の博物館調査地
地球環境に学ぶ （塚本二郎 2942-3117） 4月16日(火) 定例会 新所沢東公民館 (15時～16時) 所沢市環境対策課員による出前講座“放射線について” ところざわ倶楽部員・市民大学生で受講希望の方、お電話 の上ぜひご出席下さい。	地域の祭り研究会 （加藤敏恭 2923-5263） 4月15日 09:00 ～11:00 幹事会 於新所沢公民館
野老の歴史を楽しむ会 （戸田チ子 2995-0133） 4月18日(木) 鎌倉街道③ 雨天中止 5月2日(木) 武蔵野33 観音巡り⑨ 飯能駅9時集合 雨天の場合は9日(木)	所沢の自然と農業 （清水仁一 2944-8835） 4月18日(木) 権現山ハイキング (山野草) 4月23日(火) 駒が原春の草花調査&懇親会 5月9日(木) 坪山ハイキング (ヒカゲツツジ) 5月16日(木) 定例会: 新所沢公民館 13:00 ～
懐かしの映画・鑑賞会 （二上拓夫 080-1250-6151） 4月9日(火) 10時～12時30分 西新井町公民館 ■「そよかぜ～リンゴの唄」(45年) 並木路子・上原謙 4月23日(火) 10時～12時30分 西新井町公民館 ■「旗本退屈男」(61年) 市川右太衛門 300本記念	ドラマティック・カンパニー （八木雅子 2995-0148） 4月6日&20日(土) 10:00～正午 新所沢東公民館 ところざわ倶楽部文化祭で朗読発表する『アントニー とクレオパトラ』の練習を行うとともに、『トロイアの 女たち』を読み進めます。
傍聴席 （高垣輝雄 2926-7164） 4月15日(月) 定例会、14時～ 新所沢東公民館 3月議会の傍聴体験をとりまぜて話し合います。 新年度の市長施政方針や市議の一般質問などから、身 近な課題や私達の暮らしへの影響などを考えます。ほか	民話の会 （仲山富夫 090-3902-0283） 4月2日(火) 民話由来地めぐりと花見会 西所沢駅 10時集合 5月24日(金) 第二回民話由来地めぐり 6月25日(金) 第三回民話由来地めぐり
北欧の会 （樋口俊夫 090-6483-7993） 4月12日(金) 第39回例会 舞浜倶楽部訪問 講演と施設見学 (スウェーデン人経営による高齢者施設の見学です) 5月25日(土) 第40回例会	歴史を楽しむ野老会 （居田治 2903-8400） 4月19日 所沢を歩く(1) 西所沢～普門院、瑞岩寺等 5月24日 所沢を歩く(2) 小手指周辺の石橋供養塔 6月 休み 7月5日 検討中
歴史散策クラブ （大河原功 2943-2004） 5月11日(土) 新河岸川の遺跡散策 集合: 8時45分 所沢駅2階改札内(花や)付近 5月24日(金) 大井宿の散策 集合: 10時00分 本川越駅改札外 (弁当持参)	

【私の健康法】

《公園を楽しむ会》七戸真理子

かなり前、椎間板ヘルニアを患ったのを切っ掛けに「太極拳」と「自彊術体操」を習いました。

太極拳は気功法で身体を動かし、気持ちがゆったりして落ち着きました。



自彊術は15分から20分位で終わり、場所を取らずどこでもできますし、即効性があるので体調が悪い時、寝込むことができない時などにはこの体操で救われました。それ以来、続けています。

また、4年前に足を骨折した際、治療後も体幹がしっかりしなかったため、女性の体操教室「カーブス」に通って体力の回復に努め、その後体幹も良くなりました。

最近ウォーキング時には腹圧を意識しながら歩いています。

身体を動かすと心も軽くなり、疲れにくい身体になってきたように思います。

健康であれば、まだまだ旅に出たいし本も読みたいし、記憶の衰えが心配ですが、欲が出てきます。手軽な方法での健康維持を含め、無理をせず、ささやかな楽しみを多く持つように暮らしたいものです。



編集後記

■春爛漫。例年になく開花は早かったが、今年も桜が美しかった。そして桜前線は今まさに東北にあり。

■花の便りに私は2年前のあの日を思い出しました。黄色い水仙。早春にそっと咲く黄色い水仙。

大震災の直後、被災地の仙台を訪れた皇后・美智子さまに、被災者が、大津波に見舞われながらも花を咲かせたという自宅跡地の水仙を花束にし、「この水仙のように頑張りますから」と言って手渡したという。



美智子さまは阪神・淡路大震災のお見舞いのおかげで、皇居で摘んだ水仙を焼け跡に手向けられたことがある。

初蝶や御成座敷を開け放ち
降り晴れて春爛漫の向島
路地琴の柔き響きや春うらら
落椿見上ぐれば今盛りなる
水琴窟聞くに膝折るすみれ草
草餅に母と二人のむかしかな
竹組のトンネル越に春の園
啄ばまれあらぬ方へと桜舞ふ
名園の名脇役の土筆かな
三桎や御成座敷の句会場

鈴木 すぐる
鈴木 征子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高光 泉
中嶋 弘子
中村 直子
橋本 佑子
平栗 彰子

母も来よ彼岸桜の盛りかな
晴天に明るき彼岸桜かな
ものの芽や文字麗しき句碑の陣
白木瓜の毅然と咲きて利休の忌
日に榮えし木五倍子の花の盛りかな
スカイリール見上げる園やうらけし
かたくりの花の迎ふる百花園
関守石ぼつんとそこに春うらら
うららかや百花を愛づる俳句会
春光や虎の檻でも大欠伸

荒幡 千鶴子
飯泉 陽子
井出 昇
海老澤 愛之助
岡本 詔一郎
粕谷 昇
河瀬 俊彦
小林 貞夫
小林 典子
利根川 啓一



むさし野俳句会（二十五年三月）向島百花園吟行抄



そのいきさつから、水仙の花が「復興の象徴」と言われました。温かいお心をいつも忘れまい。

花は咲く。花は咲く。

■今月号は、3サークルに活動状況をレポートしていただきました。

皆さんの活発なご活躍に、それを読む私達も楽しい時間をいただきました。できればコラボしませか。

また、友人からのメールに、「ところざわ倶楽部HP」を見ているとありました。そして、会員の皆さんのご活躍に、たくさんの元気を頂いているとも。

■鳥達も活発に動いています、春の訪れとともに。妻籠宿で詠みました。

太古より来たりて鳴くや百千鳥

仲山富夫 記